

こんにちは。日本共産党が発行する「しんぶん赤旗」のお勧めにまいりました。確かな情報、真実を伝え、希望を運ぶ「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

※「しんぶん赤旗」日刊紙は、1カ月3497円。スマホで読める電子版もあります。電子版3週間無料お試しキャンペーン中です。週刊の「しんぶん赤旗」日曜版は、1カ月990円です。ぜひ、お読みください。

●衆議院について参議院でも、与党が過半数割れました。「しんぶん赤旗」の裏金スクープが作り出した流れです。日本共産党は、新しい国会で、自公政権と対決、差別や分断、排外主義と断固たたかいます。真実を伝える「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●政権与党が少数になり、消費税減税を実現するチャンスです。大企業や富裕層への行き過ぎた減税、優遇をやめれば財源を確保できます。責任ある財源論を示す日本共産党の「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●トランプ関税15%を受け入れた石破政権。引き換えに、コメの輸入拡大、米国製武器の爆買いを約束。こんなアメリカいいなりでいいのでしょうか。国際ルールを破るトランプ関税を、国際的な協力で撤回させようと訴える「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●私たちの生活の苦しさは、自民党・公明党政治に原因があります。外国人のせいのように言うのは、間違っています。政治家が、事実無根のデマで差別、偏見をおおるのは、人道に反します。差別と分断、排外主義とたたかう「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

※繰り返し

●コメ高騰の原因であるコメ不足の解消には、農家が安心してコメ作りができる支援が必要です。アメリカからコメの輸入を増やすことなどではありません。日本農業と国民の食の安全を守る「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●物価高騰を上回る賃上げが必要です。中小企業の賃上げを直接支援し、最低賃金をただちに1500円へ、そして1700円に引き上げましょう。給料アップで暮らしを守る「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●「裏金」政治に無反省な自民党に、国民は、厳しい審判を下しました。財界・大企業から企業・団体献金をもらい、「見返り」を提供するのは、まさにワイロ政治です。裏金問題でスクープ連発の「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

※繰り返し

●広島、長崎への原爆投下から80年。ノーベル平和賞を受賞した日本被団協と日本原水協、原水禁が初の共同アピールを発表しました。核兵器廃絶に向けた国民的取り組みをよびかけました。核兵器廃絶をめざし、日本と世界の動きを伝える「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●イスラエルによるガザでのジェノサイドは許されません。国際人道法違反の軍事攻撃をやめさせましょう。中東和平へ、道理ある道筋を示す「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●軍事に軍事で対抗する悪循環は、戦争の危険を大きくします。日本共産党は、憲法9条を生かした外交の力で平和をつくる「東アジア平和提言」を提唱しています。平和を守る「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

※繰り返し

●高すぎる学費を下げ、給付型奨学金を充実させ、学生が安心して学べる環境を作りましょう。入学金制度の問題では、日本共産党議員の質問を契機に、改善がはかられています。「学費ゼロ」をめざす「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●「結婚するなら名字を変えろ」と、強制するのはおかしくありませんか。名前は、誰にとっても大事なものです。選択的夫婦別姓の実現で、強制をやめさせましょう。誰もが尊厳を持って生きられるジェンダー平等社会をめざす「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●囲碁・将棋の新人王戦は、プロ棋士の登竜門として注目されています。囲碁の一力遼（いちりき・りょう）名人、将棋の藤井聡太七冠も新人王経験者です。新人王戦を主催する「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。